

第126期定時株主総会 質疑応答要旨

2021年6月25日（金）開催の第126期定時株主総会において、株主様からいただきましたご質問やご意見の要旨を掲載いたします。

1	【環境問題】
質問	プラスチックを扱う企業として廃プラスチックの問題についてどのように考えているか。具体的なアクション等、検討していることがあれば教えてほしい。
回答	<p>当社は、『人と地球にやさしい未来を創造する』という使命のもと、環境基本方針を定め、事業活動全般にわたって環境負荷低減に努めており、『つくる責任』を果たしていく必要があると理解している。</p> <p>具体的には、工場からのペレット等の流出防止や各工場から出る廃材の再利用の実施、非耐久財を多く扱う機能フィルム事業では、環境負荷を低減するバイオマス原料の使用や、PETボトルに装着したままでもリサイクル可能なシュリンクラベルの商品開発等を行っている。</p> <p>また、5月に循環適応型素材事業推進部を設置し、廃材のリサイクル等を促進していくこと、3月末に子会社化したマーベリックパートナーズ(株)が有する機能性樹脂やコンパウンドに対する知見を活用することで、環境負荷低減や社会の持続的・継続的発展に貢献できるよう取り組んでいく。</p>

2	【株式報酬制度】
質問	第4号議案および第5号議案の株式報酬制度に起因する希薄化による株式の価値毀損についてどのように考えているか。
回答	株式の取得方法は、自己株式処分による取得か株式市場からの取得となる。株式市場からの取得の場合は株式の希薄化は発生しない。一方で、自己株式処分による取得の場合は株式の希薄化はあるものの、その割合はごくわずかであり、影響は非常に小さいと考えている。これらの株式報酬制度により当社取締役と株主様の間で、今後の企業の発展、持続的成長を共有していくことに大きな価値があるものと考えている。

以上